

「^{もり}森林づくり」のための緊急アピール

平成 17 年 1 月 20 日

- 1 . 昨年のスマトラ島沖大地震及びインド洋津波による災害は、自然の持つ力の恐ろしさを我々に知らしめました。日本においても、昨年は史上最多の 10 個の台風の来襲、梅雨期の集中豪雨、さらに 10 月の新潟県中越地震等により、多くの尊い命が失われるなど甚大な被害がもたらされました。
- 2 . 我が国の森林も、昨年の一連の災害により被害箇所約 3 万 3 千箇所、被害額約 3 , 4 0 0 億円と大きな被害を受け、災害の拡大を防ぐためにも、被害森林の復旧が急務となっています。
- 3 . 森林は、土砂流出の防止、洪水の緩和、水源のかん養、地球温暖化の防止など国土や環境の保全のために様々な重要な役割を果たしており、国民の宝ともいふべき国民共有の財産です。
- 4 . ^{もり}森林づくりは、息の長い仕事であり、地域・国民が一体とな^りって取り組むことが不可欠であり、災害に強い多様で健全な森林づくりを社会全体で支えていくことが重要です。
- 5 . このため、国や地方公共団体のみ任せおくのではなく、行政と国民各界各層で議論を深め、国、地方公共団体、民間が緊密に連携し、国、地方公共団体による森林整備の推進と併せ、民間ボランティアによる取組や、「緑の募金」による森林づくりの推進など国民参加の下、社会全体で取り組んでいくことが重要です。

「^{もり}森林づくり」シンポジウムパネリスト一同